

令和5年度 技術移転に係わる目利き人材育成プログラム「研究推進マネジメントコース ベーシック編」タイムテーブル

(注) 講師およびカリキュラムにつきましては、都合により一部変更する場合があります。

研究推進マネジメントコース

ベーシック編

研修会場 : オンライン開催

定員 : 80名

開催期間 : 令和5年8月9日(水)・10日(木)

(講師名: 敬称略)

課程・講師名	日程	会場	9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00	
			9:15	9:40	10:00	10:40	10:45	12:00	13:00	14:00	15:00	15:15	17:00							
<b>A課程</b> 産学官連携の全体像と 研究開発マネジメント・リスクマネジメントの基礎 【開講挨拶】 小長谷 幸 科学技術振興機構 人財部 科学技術イノベーション人材育成室 室長 【講師】 野口 義文 立命館大学 副学長 (兼) 産学官連携戦略本部 副本部長 (兼) 大学院キャリアパス推進室 室長 (兼) 研究部 事務部長 須佐 大樹 HTSプロモーター合同会社 代表社員 ライックウェア株式会社 代表取締役 北海道大学 産学・地域協働推進機構 アドバイザー 狩野 幹人 三重大学 学長補佐 社会連携(リスクマネジメント・知財)担当 みえの未来創共創機構 准教授 大学院地域イノベーション学研究所 准教授 知的財産マネジメント部門 部門長 産学官連携リスクマネジメント部門 副部門長	8/9 (水)	WEB	受 付	主 催 者 開 講 接 拶	趣 旨 説 明 ・ 注 意 事 項	【導入講義】 産学官連携の 全体像を掴む 立命館大学 野口 義文	休 憩	【講義①】 産学官連携との かかわり方と 基本姿勢 立命館大学 野口 義文	屋 食 休 憩	【講義②】 産学官連携コーディネーター活動と 研究開発マネジメント HTSプロモーター 須佐 大樹	休 憩	【講義③】 産学官連携に関する リスクマネジメントの基礎 三重大学 狩野 幹人	振 り 返 り シ ー ト 記 入 ・ 解 散							
					産学官連携の全体像や実務者が学ぶべき視点、目利き人材に期待される要件について理解する。	大学等における産学官連携活動を推進する業務の基本を学ぶ。様々な研究環境の変化や多様化する産学官連携の形を踏まえ、協力支援のあり方と心構えについて理解を深める。		産学官連携コーディネーターの業務内容とその特徴、およびコーディネータに期待される支援業務等、研究開発プロジェクトをマネジメントするための基礎を学ぶ。また、受講者が日常業務で抱えている課題や解決すべき事項を取り上げ、その解決への糸口をつかみ、今後の産学官連携支援のあり方を模索する。		産学官連携リスクマネジメントの全体像を俯瞰する。基本的なリスクの把握から分析、情報収集などを行い、産学官連携活動に必要なリスクマネジメントの基礎知識とスキルを習得する。										

課程・講師名	日程	会場	9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00	
			9:15	9:45	10:00	12:00	13:00	14:00	15:00	15:15	17:00									
<b>B課程</b> 知財戦略や共同研究契約の基本と研究推進活動 【講師】 正城 敬博 大阪大学 共創機構 教授 渉外部門長 小川 隆 九州大学 研究・産学官連携推進部 産学官連携推進課 特定業務専門員	8/10 (木)	WEB	受 付	趣 旨 説 明 ・ 注 意 事 項	【講義①】 大学における知財の意義と戦略 大阪大学 正城 敬博	休 憩	【講義②】 共同研究契約について 九州大学 小川 隆	屋 食 休 憩		【ワークショップ】 技術移転に関する 業務課題と解決に向けて 研究推進マネジメントコース 講師陣 グループワーク (意見交換)	休 憩	振 り 返 り シ ー ト 記 入 ・ 解 散								
					大学における知財の意義を学び、大学が知財とどう関わっているかを概観する。大学の研究成果を社会実装する重要性について理解したうえで、研究成果を戦略的に権利化し活用することの価値について考える。		契約に関する基本的事項を確認した上で、共同研究契約締結までに相手企業と決めておくべき項目について学ぶ。さらに、特許の出願費用負担や実施権等の共同研究において生じやすい交渉のポイントについて考える。		受講者から寄せられた課題や研究推進活動での疑問点などを共有し、講師を交えて解決のための意見交換を行う。また、グループワークを通じて受講者間のネットワークを構築する。											

令和5年度 技術移転に係る目利き人材育成プログラム「研究推進マネジメントコース アドバンス編」タイムテーブル

(注) 講師およびカリキュラムにつきましては、都合により一部変更する場合があります。

研究推進マネジメントコース

アドバンス編

研修会場 : オンライン開催  
 定員 : 40名  
 開催期間 : 令和5年9月13日(水)・14日(木)

(講師名: 敬称略)

課程・講師名	日程	会場	9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00	
			9:15	9:40	10:00	10:40	10:45	12:00	13:00	14:00	15:15	17:00								
<b>A課程</b> 産学官連携を推進する組織作りやデータ分析、リスク管理への取り組み 【開講挨拶】 小長谷 春 科学技術振興機構 人財部 科学技術イノベーション人材育成室 室長 【講師】 各務 茂夫 東京大学 大学院工学系研究科 教授 産学協創推進本部 副本部長 日本ベンチャー学会 会長 野口 義文 立命館大学 副学長 (兼) 産学官連携戦略本部 副本部長 (兼) 大学院キャリアパス推進室 室長 (兼) 研究部 事務部長 榎部 靖博 東京工業大学 企画本部 戦略的経営室 特任准教授 白井 俊行 内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 参事官 飯田 香緒里 東京医科歯科大学 副理事 (産学官連携・オープンイノベーション担当) 統合イノベーション機構 教授 オープンイノベーションセンター長	9/13(水)	WEB	受付	種目説明・注意事項	[導入講義] 産学官連携の現状と推進活動 東京大学 各務 茂夫	[講義①] 産学官連携とのかわり方と基本姿勢 立命館大学 野口 義文	産学官連携の実務者が学ぶべき視点や現状を把握する。目利き人材の要件について学び、産学官連携を全体俯瞰する。 大学等、研究機関で示されている研究の理念や基本目標、目標に向けた施策の研究ビジョンについて事例を通して学ぶ。研究環境の変化や多様化する産学官連携の形を踏まえ、協力支援のあり方や組織が戦略的に動く方策を検討する。	昼食休憩	[講義②] データ活用の取り組みと分析 東京工業大学 榎部 靖博 / 内閣府 白井 俊行	官民あわせだイノベーションの活性化を目的に、政府研究開発投資の見える化を目指した内閣府のシステム「e-CST」などから具体的に得られるデータを俯瞰する。データ項目を通して、産学官連携活動に関する「データ」の活用とその重要性について考える。	産学官連携リスクマネジメントを全体俯瞰し、近年の傾向から気を付けるべきリスクについて具体的に把握する。産学官連携活動における研究契約の遵守や違反の予防など、組織でどのようにマネジメントしていくか、その方法について事例を交えて考える。	[講義③] 産学官連携にかかるリスクマネジメント 東京医科歯科大学 飯田 香緒里	振り返りシート記入・解散							

課程・講師名	日程	会場	9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00	
			9:15	9:45	10:00	12:00	13:00	15:00	15:10	17:00										
<b>B課程</b> 知財戦略や契約交渉の実践、課題克服への取り組み 【講師】 正城 敬博 大阪大学 共創機構 教授 渉外部門長 小川 隆 九州大学 研究・産学官連携推進部 産学官連携推進課 特定業務専門職	9/14(木)	WEB	受付	種目説明・注意事項	[講義①] 大学における知財の意義と戦略 大阪大学 正城 敬博	大学における知財の意義を確認し、大学が知財とどう関わっているかを概観する。研究成果を権利化し、活用するための戦略について具体的な方法を学ぶ。また、所属組織での課題を身につけると共に、実効性のある知財戦略の構築について理解を深める。	昼食休憩	[講義②] 共同研究契約について 九州大学 小川 隆	共同研究契約締結の際に交渉のポイントとなる条項について理解を深める。契約や交渉をスムーズに進めるための工夫や判断が難しい事例を把握し、現場の契約実務の遂行力を向上させる。	[ワークショップ] 技術移転に関する業務課題と解決に向けて 研究推進マネジメントコース 講師陣	グループワーク(意見交換) 受講者から寄せられた課題や研究推進活動での疑問点などを共有し、講師を交えて解決のための意見交換を行う。また、グループワークを通して受講者間のネットワークを構築する。	振り返りシート記入・解散								